

令和5年度海外派遣研修報告

— 研修内容 —

忠海学園9年：富永 めい 平田 千寛



1, 海外派遣事前研修

私たちはこの研修をより良いものにするために4回の事前研修を受け基本的な英語文や単語の勉強、自己カードや竹原市を紹介するカードの制作などをしました。また、アイスブレイキングゲームと一緒に研修に参加する中学生と仲良くなることができました。そして、最後の事前研修では、壮行式を行い、海外派遣研修への意識を高めました。そして、みんなそれぞれの思いをもって竹原を出発しました。

2, ハワイでの研修

6日間の研修では、ハワイの有名な観光地を巡ったり、ホームステイをしたり、買い物をしたりしました。事前研修で習ったことを活かし、ホストファミリーやホノウリウリミドルスクールの生徒たちと会話することができました。また、自分たちで事前に調査したこと以外にもたくさんの学びがありました。



3, 学んだこと

1つ目は**コミュニケーション**についてです。様々な場面で「伝えたいことがあるけれどどうやって伝えたらいいかわからない」ということが何度もありました。そのようなときに大切なことは文法があっているかは気にせず勇気を出して伝えることだということだとは分かりました。そうすることであまり言語の壁を感じることなく会話をする事ができると学びました。

2つ目は**ハワイの観光業の発達**についてです。私がハワイの観光地で観光する際、日本語の看板や日本語の音声ガイドがありました。ハワイへ観光に来る海外からの旅行者への配慮や観光しやすい環境が整っていることがとてもいいと感じました。

4, 最後に

この経験から、竹原の観光地でも、海外からの旅行者をターゲットにした**観光業を発達させるべき**だと思います。例えば大久野島では、毎年たくさんの海外からの旅行者が訪れます。そこで英語に限らず様々な国の人を対象に外国語でガイドできる人を呼んだり、日本での旅行が困らないように看板などで呼びかけたりするなど、どこの観光客であっても楽しめるような環境を作りたいと考えました。これからの将来、日本はグローバル化し、様々な文化の共存する時代になると思います。だから、私は今回頂いたチャンスを無駄にせず、この研修での経験を将来に生かしていきたいです。

令和5年度海外派遣研修報告

～ホノウリウリミドルスクール～

竹原中学校 3年 明石 惺那
上田 遼



1.ホノウリウリミドルスクールとは

ホノウリウリミドルスクールは昨年度竹原市の中学校や義務教育学校と姉妹協定を結んでいる学校です。中学校につくと生徒のみなさんが快く出迎えてくれました。日本と比べ積極的にそしてフレンドリーに出迎えてくれました。こういう積極性を見習っていきたいと思いました。



2.交流したこと

ホノウリウリミドルスクールでは、私たちから竹原についてプレゼンしたり自己紹介をしたりしました。向こうの生徒から即興で質問がありましたが何とか答えることができました。その後、フラダンスを一緒に踊ったり昼食を食べたりしました。一人仲良くなった子とバスケのNBAプレイヤーの話をしました。またアニメの話もしました。アニメやバスケという共通の文化があったので会話が盛り上がりました。



3.日本との違いについて

日本の学校との違いがいくつもありました。
授業：全学年が集まって行われていました。全学年に発言機会がありました。
昼食：食堂で給食を受け取っていました。好きな席に座っていました。学年の壁を超えて食事を楽しんでいました。



4.学んだこと

1つ目はコミュニケーション能力です。コミュニケーション能力はだれとでも話せることではなく相手との話をどれだけ深く掘り下げることができるかが大事だと学びました。2つ目は自分で実際に見たり経験したりすることの大切さを学びました。例えば、海外では街中にはゴミが捨てられているかと思いましたが、案外少なく街がきれいに保たれていました。百聞は一見にしかずでこの研修に参加したことをきっかけにこれからもっと積極的に行動していきたいです。そしてこれからもハワイとの交流を続けていきたいです！

令和5年度海外派遣研修報告

～文化について～

吉名学園

9年 大下莉奈 峯本朱梨

◆景色

ハワイのビーチと海はとても綺麗でした。瀬戸内海に比べてとても力強く青々と光っていました。私達がハワイに滞在していた期間は雨が一切降らず、毎日晴れていて涼しくて最高でした。ワイキキビーチにはたくさんの観光客がいてみんなとても楽しそうにしていました。そしてハワイでは老若男女関わらず、色んな人が積極的に活動していることが印象的でした。一人一人を大切にするアロハスピリットを感じる事ができました。



◆オハナ

ハワイに行って多様性を感じる事ができました。肌の色や目の色、髪の毛の色が一人ひとり違いました。街行く人はとても「いきいき」していました。なんでかなと疑問に思うと、ハワイの人は「オハナ」という精神を持っているからでした。

「オハナ」は「家族」という意味です。ハワイの人は血縁に関係なくお互いの存在を大切にし、みんな家族と考えているそうです。だからこそ、私達のことにも家族のように受け入れてくれました。

◆食事

ハワイに行くまでは、日本とハワイでは食文化がとても異なっているという印象を持っていたり、去年の研修者から「食べ物が口に合わず、とても痩せた。」と聞いていたりしたため、とても不安な気持ちを抱えていました。しかし聞いたこととは異なりほんとうにおいしかったです。ロコモコはもちろん、ホストファミリーが準備してくれた日本で見たことのないような太いソーセージやピザなどはとても美味しかったです。私達がお世話になったホストファミリーのお宅では、白米まで出てきました。普段から食べているのか私達のために用意してくれたのかわかりませんが、美味しく食べ終えることができました。



◆研修に参加して

実際に研修に参加することで、今までの固定観念がなくなりました。日本と異なる文化や考え方を肌で感じる事ができました。また、英語学習への意欲を持つ事ができました。今、来年の海外派遣研修に参加しようかと悩んでいる人は挑戦してみることを、おすすめします。

Thank you for reading !



令和5年度海外派遣研修報告

～ホームステイ～

竹原中学校 3年 品玉 空駕
賀茂川中学校 2年 福本 碧伊

1 ホームステイについて

私達は、海外派遣研修の2～4日目にかけてホームステイを行いました。2人ずつグループになって分かれ、それぞれのホストファミリーと過ごします。私達はGuzmanさんの家庭でホームステイをさせていただきました。

2 体験・学んだこと

ホームステイ1日目には、海に行って夕暮れを見ました。とても美しく、印象に残りました。2日目は、ハレイワタウンへ行きました。ホストファミリーの方から、この街は昔の景観を守るために電気を使った看板をつけない決まりがあるということを知りました。ハワイでも昔ながらの建造物などを残すために工夫をしているのだなと深く感じました。この他にもバーベキューをさせていただいたり、バランスロックという場所にも連れて行ってくださいました。



ハレイワタウンにある昔ながらの看板

バランスロックとは、あの大谷翔平選手も訪れたことのあるパワースポットで、大きい岩が2枚重なっています。ハワイの大きな自然を感じることができました。ホストファミリーは私達が理解できるように簡単な単語を使ってくださったり、日本語で説明してくれたりする場面もありました。3日間ホストファミリーとコミュニケーションできるか不安でしたが、優しく接してくれて安心して過ごすことができました。また、日本と海外の生活スタイルの違いについて学ぶことができました。例えば、冷蔵庫が室内と屋外にそれぞれ一つずつあったり、キッチンが1階と2階にあったりするなど日本と違うことが多くとても驚きました。冷蔵庫は屋外にあるものは飲料が多く室内の冷蔵庫には食べ物などがありました。この他にも、朝食にパンケーキを食べる、別れ際にハグをするなどの日本とは違う文化がありました。



バランスロック



ホームステイの様子

3 最後に

このホームステイを通して、それぞれのホストファミリーの方と過ごし、実際のハワイでの暮らしを体験することができました。

ホームステイで学んだことをこれからの日常生活や学校生活の場面に生かしたいです。また、この体験をこの海外派遣研修に興味を持った人に伝えたいです。